

## 令和4年度学校教育自己診断結果（教職員）

問	診断内容	R4年度 肯定	R3年度 肯定	R2年度 肯定	前年比
1	学校の教育活動について教職員で日常的に話し合っている。	87%	84%	93%	2%
2	教育活動全般にわたる評価を行い次年度の計画に生かしている。	73%	71%	81%	2%
3	到達度の低い生徒に対する学習指導を、全体的課題として取り組んでいる。	88%	81%	81%	8%
4	意欲の高い生徒に対して行う学習指導を、個に応じた視点で工夫して行っている。	88%	77%	81%	11%
5	評価の在り方や、評価方法について話し合う機会がある。	78%	69%	63%	9%
6	授業においてコンピュータやAV機器等の教具や施設・設備が十分活用されている。	79%	84%	69%	-6%
7	生徒の問題行動の防止や、起きたときに組織的に対応できている。	88%	88%	88%	1%
8	教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。	84%	88%	88%	-4%
9	この学校ではカウンセリングマインドを取り入れた生活指導を行っている。	78%	81%	63%	-3%
10	いじめ(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。	88%	88%	75%	1%
11	生徒ひとりひとりが興味・関心・適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている	94%	97%	88%	-3%
12	校則が生徒の実態に則しており、適切であるかについて生徒や教職員間の中で話し合う機会がある。	52%	58%	63%	-6%
13	生徒ひとりひとりが興味・関心・適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい情報提供を行っている。	90%	91%	88%	-1%
14	ホームルーム活動を主とした学級経営の改善に学級・学年・学校全体で取り組んでいる。	74%	69%	69%	5%
15	学校行事が生徒にとって魅力あるものとするために工夫・改善を行っている。	80%	81%	50%	-1%
16	生徒会活動を通じて生徒が民主的な手続きを経て、主体的に活動できるよう学校全体で支援している。	57%	63%	44%	-6%
17	学校として生徒が達成感を得られるよう部活動の活性化について工夫している。	61%	50%	63%	11%
18	人権尊重の教育において、同和問題や在日外国人への偏見や差別及び障がい者に対する理解を高める指導を行っている。	88%	81%	88%	7%
19	固定的な性別役割分担意識を是正し、男女共生意識に基づく社会を築くための資質を養うことができるよう工夫している。	68%	75%	81%	-7%
20	体罰やセクシュアル・ハラスメントの防止をはじめ、人権尊重の姿勢にもとづいた生徒指導を行っている。	88%	81%	88%	7%
21	教育活動において地域奉仕やボランティア活動が行われている。	76%	75%	50%	1%
22	地域等との連携が教育活動において実践されている。	88%	91%	67%	-2%
23	この学校の教育活動には生徒や保護者のニーズにあった特色がある。	90%	100%	88%	-10%
24	校長は自らの教育理念に基づきリーダーシップを発揮し、学校運営を行っている。	82%	84%	69%	-2%
25	学校運営に、教職員やPTA・学校運営協議会の意見が参考にされている。	80%	74%	69%	6%
26	適切な校内人事や分掌業務がなされ、各分掌や学年間の連携が円滑に行われている。	74%	69%	75%	5%
27	職員会議をはじめ各種会議が有効に機能し、教育活動や学校運営に反映されている。	65%	78%	50%	-13%
28	教育活動における問題意識や悩みについて、気軽に相談しあえるような職場の人間関係ができている。	76%	72%	69%	5%
29	個人情報の適正管理をはじめ、教職員の倫理行動や服務規律への意識が高い。	80%	72%	81%	9%
30	事故・事件・災害等に対して迅速で適切な対処をするため役割分担が明確化されている。	67%	78%	73%	-11%
31	施設・設備の点検や管理が適切に行われている。	65%	56%	75%	9%
32	施設・設備の拡充は長期的見通しに立って計画されている。	52%	41%	38%	11%
33	計画的に校内研修や研究授業が実施され、日々の教育実践に役に立っている。	74%	74%	75%	0%
34	教育活動に必要な情報について生徒・保護者や地域への周知に努めている。	84%	91%	81%	-6%
35	府教育センター等での諸研修に参加する体制が整い、その成果を他の教職員に伝える機会が設けられている。	56%	48%	56%	8%
36	公文書の收受・発送・保管に対する管理が適切におこなわれている。	89%	81%	88%	9%
37	指導要録の記入・点検が年度内に適正に行われている。	87%	84%	75%	3%
38	緊急時における授業保障として、双方向性のシステムが構築されている。	90%	74%	67%	16%

＜教職員＞

（結果）R4年度は、肯定率50%以下はなかった。また、80%以上は問1, 3, 4, 7, 8, 10, 11, 13, 15, 18, 20, 22, 23, 24, 29, 34, 37, 38の19項目と半数であった。

問23, 27及び30は前年比-10%以下と低迷した。また、問4, 17, 32及び38は前年比10%以上の上昇を見せた。

（考察）保護者と同様に。生徒会活動、部活動及び施設・設備についての課題と感じているようである。

また、校則についてが低下しており今後注視していく必要がある。